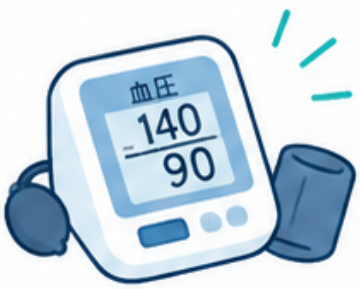
高血圧の種類

「本態性高血圧」と「二次性高血圧」



高血圧症は、その発生原因によって大きく2つのタイプに分類されます。
適切な治療方針を立てるためには、この違いを正しく鑑別することが極めて重要です。

1. 本態性（ほんたいせい）高血圧症

**高血圧患者様全体の約9割を占める
代表的なタイプです。**

特定の明らかな病気が原因ではなく、遺伝的な体質・素因に、食生活での塩分過剰摂取、肥満、運動不足、飲酒、喫煙、ストレス、加齢などの生活習慣や環境要因が複合的に重なり合って発症します。

主な発症の要因

遺伝的な体質・素因

塩分のとりすぎ

肥満

運動不足

飲酒

喫煙

ストレス

加齢

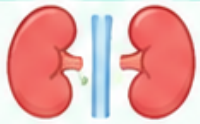
生活習慣の改善と
患者様に合わせた
適切な**薬物療法**を
組み合わせてコントロール
していきます。

2. 二次性（にじせい）高血圧症

体に隠れている特定の病気や、服用しているお薬の影響によって血圧が上昇するタイプです。

原因となっている元の疾患を正しく治療したり、原因となる薬剤を変更・中止したりすることで、高血圧自体が著しく改善または完治する可能性があります。

主な原因



腎臓の疾患
- 慢性腎臓病（CKD）
- 腎動脈狭窄症など

内分泌（ホルモン）の異常
- 原発性アルドステロン症
- クッシング症候群
- 褐色細胞腫など

睡眠時無呼吸症候群（SAS）
睡眠中の低酸素状態により
交感神経が刺激され、
夜間や早朝の血圧が高くなります。

薬剤性
- 漢方薬（甘草を含む処方）
- 非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）
- ステロイド薬などの影響

当院では、単に降圧薬を処方するだけでなく、
二次性高血圧の原因が潜んでいないかを慎重に見極めた上で
治療を進めます。

あなたに合った
最適な治療を
一緒に考えます